



## 週報 第3091回

会長 白谷 喜世彦 副会長 原 真理子  
幹事 小門 茂樹 SAA 山本 博章



泉大津ロータリークラブ  
Izumitsu Rotary Club

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



### 今週の例会(2020年11月20日)

#### ■ プログラム

「私の履歴書」  
道正田 均 会員

#### ■ 次週のプログラム

11月27日：大和リース株式会社 大阪本店  
流通建築リース営業所  
課長代理 本田 考周 様

#### ■ 今後の予定

- ・12月 4日：クラブアッセンブリー  
杉本 憲一 職業奉仕部門理事
- ・12月11日：大阪保護観察所堺支部  
保護観察官 原田 懐 様

#### ■ 祝 誕生日

なし

#### ■ 今月のロータリーソング

我等の生業

#### ■ 先週の例会

##### 会長の時間

11月半ばとなりました。本年ものこすところあと1ヶ月半、コロナで始まりコロナで終わるそんな年となりました。コロナによって多くの人が命を失い、また白谷喜世彦会長た経済は大きなダメージを受けました。しかし、いままでのあたりまえや停滞していた動きが強制的に前へおしすすめられたような気がします。このコロナはおそらく来年も続いていくでしょう、この中で新しい動きの息吹が感じられるのも事実です。私たちがこの機会をいかせるようにしていきたいものです。

さて、先日当クラブの理事会と地区の立法検討会がありました、これに関していくつか報告申し上げます。

先週土曜日、JR和歌山駅の前のJA会館にて開催された2020-2021年度 地区立法検討会に行ってきました。



##### 審議事項

1. 2019-2020年度地区財務報告採択  
期ずれの修正を行い、適正に処理されていると可決
2. ガバナーノミニリー (2023-2024年度ガバナー) 選出方法採択の件  
例年通り3名の指名委員会に選出という議案に

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3091回

対し、ここ数年地区が異常な状態となり、3名の指名委員会(ガバナー経験者)でしか指名委員会の構成ができなかった。現在正常化しつつある中で、3名であれば地区のかたより、意見の偏りができるので以前の5名に戻してはという提案。

この提案に決定。5名の指名委員会にて選出することに決定。

直近過去5名のガバナーを指名した。(中野、樫畑、岡本当日出席受諾)

#### 3. 報告事項

①規定審議会とRI理事会について  
規定審議会はこれまで3年に一回の開催が緊急性のあるものは毎年オンラインで決議審議会を行うことに変更。

②岡本が考えるいまの問題点  
RIの事務総長が最高経営責任者となり、他の役員任期が2年なのに、5年となり、重任もさまたげなくなったことが問題と感じる。

#### 4. 世界ポリオデー

10月24日高野山にて世界ポリオデー高野山祈願が開催されました  
このような内容でした。

また、先週金曜日、クラブの理事会においては、今年の12月のクリスマス例会について具体的な計画があがってきています。当初、大阪市内で家族も呼んでと考えていましたが、このコロナで残念ながら会員のみで12月18日金曜日の19時より泉大津のきらりリゾートで開催されることとなりました。ぜひみなさんご参加よろしくお願ひします。

また、同好会も現在活発に活動してもらっているゴルフ同好会のほかに、ウォーキング同好会、日本酒同好会、グルメ同好会を再度幹事を決めてやっていこうと決めました。

ロータリークラブの大きな目的の一つは会員交流にあります。こうやって例会参加いただき交流していただくことは非常に有意義です。今年のロータリーのスローガンはロータリーは機会の扉を開くです。このような同好会を通しての交流をおして人間関係をはぐくみプライベートでも、また仕事の上でも役立つような関係を作り新たな機会の扉を開いてもらえるきっかけとしていつてもえたらと思います。そのためにも、幹事のかた、コロナの状況を見ながらになりたいと思います。早急事業をすすめていただきたいです。

#### 幹事報告

小門 茂樹 幹事  
○本日理事の方のメールボックスに新入会員の方の資料を入れておりますのでお目通し頂きたいと思ひます  
○和泉ロータリークラブより、11月18日(水)例会場変更のお知らせが届いております  
○11月16日(月)事務局お休みさせていただきますのでよろしくお願ひ致します

#### 委員会報告

本日例会終了後、会報・IT委員会を開催します(上田 秀朗 会報・IT委員長)

#### ■ ビジター

なし

#### ■ 出席報告

会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
11/13	40名	4名	—	90.91%
10/30	37名	6名	3名	93.02%

#### ■ メークアップ

榎本(11/9 ワールド大阪ロータリーEクラブ)  
丹農(10/29 和泉南RC)  
飯野(10/16 会員増強委員会)

#### ■ ニコニコ箱

- ・高寺さん、今日は宜しくお願ひします(白谷)
- ・欠席のお詫び。先日の例会を欠席致しまして申し訳ございませんでした。本日高寺様、クラブフォーラム宜しくお願ひ致します(小門)
- ・高寺委員長、本日のクラブフォーラム宜しくお願ひします(山本(博))
- ・先週欠席のおわび。本日フォーラムよろしくお願ひします(高寺)
- ・欠席のお詫び(丹農)
- ・欠席のおわびです(寺田)
- ・欠席のおわび(根尾)
- ・前回例会欠席のおわび(小野寺)
- ・早退のおわび(藤野)

ニコニコ箱合計	13,000円
累計	325,000円

#### ■ 祝 誕生日

植村 勢彦(17日)  
泉谷 仁博(17日)  
道正田 均(18日)



### 先週のプログラム 「クラブフォーラム」



ロータリー財団委員長  
高寺 壽

ロータリー財団の正式名称はRIのロータリー財団です。

●ロータリー財団とは、  
ロータリークラブ及び地区を通じて実施された人道的及び教育的活動を支援するために寄付を受け、資金を分配する非営利団体。

ロータリー財団の資産は、国際ロータリーの5倍程度あり、ロータリーの奉仕活動を広げていくことに貢献している。特に、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成することである。

#### ●ロータリー財団の歴史

1917年：アトランタ国際大会で、6人目のRI会長アーチ・クラフがロータリー財団を創設しました。ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で「何か良いことをしようではないか(標語：Doing good in the world!)」と提案

1918年：初めての寄付は、カンザスシティ RC の26.5ドル。

1928年：基金は正式にロータリー財団と命名されました。5,739ドル。

1928年にロータリー財団として正式に発足しましたが、翌年の1929年に大恐慌が発生

1930年、40年代 様々な努力が続きましたが、特定のプログラムが無くてはそのエネルギーも資金も十分発揮することができませんでした。

1947年：ポール・ハリスが死去し、彼を記念して募金活動を行ったところ100万ドルの目標に対して200万ドル以上が集まり、この資金が本格的な財団活動の出発となりました。1947年に財団の最初のプログラム国際親善奨学金制度が設立され、1948年に18人の若い人々が選ばれて他国に留学→世界最大の奨学金となっています。

1965年：GSE(研究グループ交換プログラム)が始まる。

1978年 3Hプログラムが始まる。保健(Health)、飢餓(Hunger)、人間尊重(Humanism)

1983年 米国イリノイ州の法令の下に非営利財団

法人化。

1985年 ポリオのプログラムが始まる。財団活動の最重要プロジェクトはポリオプラスです。当初計画では、1985年から2005年までの20年計画でしたが、今日も続けられているのが現状です。あと一息で終息と期待するところですが…

2013年 国際親善奨学生、GSEが廃止

2013年から、財団プログラムに大変革を行う「未来の夢計画」に入っています。

財団プログラムや補助金の名称も委員会構成も大きく変わりました。グローバル補助金による活動(人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チーム)はすべて、ロータリー財団のいずれかの重点分野についてあらかじめ定められた目標をめざすものであることが条件とされています。

1. 平和構築と紛争予防
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 地域社会の経済発展

2010年度までのロータリー財団の三大プログラムを要約すると以下の通りです。

1. ポリオプラス：2019年現在、ロータリーはポリオ根絶活動に20億ドル以上の資金(ビル&メリнда・ゲイツ財団からの上乘せを含む)を投入しています。
2. 教育的プログラム  
(1)国際親善奨学金  
(2)研究グループ交換プログラム(GSE)  
(3)平和フェローシップ

3. 人道的補助金プログラム  
(1)地区補助金 DDF  
(2)マッチンググラント2017年 ロータリー財団100周年

補助金の中で、親善のプログラムがなくなりました。

2640地区では、国際親善奨学生、GSE(研究グループ交換)を主なプログラムにしていました。その他、各クラブでは台湾や東南アジアの国々と個別なプログラムで交流をしていました。

リーマンショックまでは、日本のRCからの財団の寄付額が多く、RIの財団事務局に日本人スタッフがいて、日本からの対応に当たって

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3091回

ましたが、リーマンショックで組織縮小となり、専門スタッフがなくなり日本からの対応が困難になりました。

また、プログラムの内容も変わり、使いづらくなりました。

2008年9月に発生した所謂リーマンショックの影響によりロータリー財団資金の運用上の赤字が発生し、2007年度～2009年度の2年間に総計2億2,200万ドル、177億6,000万円となりました。その上、RIの資金運営上も1億ドル、80億円以上の損出を出すこととなりました。この多額の損出はロータリー財団の計画に大きな影響を与えました。

#### ●当クラブのロータリー財団活動。

①グローバル基金からロータリー財団の寄付金額等は昨年同様に提出したい。

②財団の地区補助金の活用については、3年前の寄付金額の1/4程度の金額なので、手続きが煩瑣な割に金額が少ないので、特に申請は見送る予定。

③初めてグローバル奨学生?

#### ●ロータリーのクレジットカード

ロータリーのクレジットカード(マスターカード)をご利用ください。カードをご利用いただくことで、購入額のうち一定の割合がロータリーのポリオ根絶活動への支援に充てられます。

### ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

## 四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか